

28CG-am02

小児用ムコソルバン®DS 1.5 %, 嚥下補助ゼリーによるタミフル®カプセル75内容物の苦味抑制

○榎川 舞¹, 原口 珠実¹, 吉田 都¹, 内田 享弘¹(¹武庫川女大薬)

【目的】本検討では、タミフル®カプセル75を脱カプセルし、内容物に乳糖、サールツ®ドライシロップ小児用20 %, 小児用ムコソルバン®DS 1.5 %, 嚥下補助ゼリー製剤を添加した場合の苦味抑制効果についてヒト官能試験で評価した。

【方法】試料は、タミフル®カプセル75内容物66 mg, 同内容物に、乳糖934 mg, サールツ®ドライシロップ小児用20 % 0.75 g, 小児用ムコソルバン®DS 1.5 % 0.3 g (体重15 kg小児を推定)を添加したものを使用した。各試料を、水25 mLに30秒間懸濁し、そのろ液を試料とし、健常な成人男女7名を対象にヒト官能試験(塩酸キニーネ水溶液を苦味の基準溶液とした等価濃度試験)を実施した。また、タミフル®カプセル75内容物66 mgに乳糖934 mgを添加した試料を嚥下補助ゼリー(チョコレート味・レモン味)で服用する際の苦味についても同様にヒト官能試験により評価した。

【結果および考察】タミフル®カプセル75内容物の苦味強度は3を呈し、同内容物に乳糖を添加したものの苦味強度は2であった。一方、タミフル®カプセル75内容物に小児用ムコソルバン®DS 1.5 %を添加した試料は、タミフル®カプセル75内容物単独に比べ、苦味強度を抑制していた。また、同内容物に乳糖を添加したものをチョコレート味とレモン味の嚥下補助ゼリーを用いて服用すると苦味強度は約0.5に抑制された。ヒト官能試験の結果より、小児用ムコソルバン®DS 1.5 %およびチョコレート味の嚥下補助ゼリーが甘味を有すること、レモン味の嚥下補助ゼリーが甘味と酸味を有することから、タミフル®カプセル75内容物との組み合わせによる苦味抑制効果は、併用製剤や嚥下補助ゼリー製剤の甘味と酸味に起因することが予測された。